

2023年2月14日

関係各位

千代田化工建設株式会社  
IR・広報・サステナビリティ推進セクション**3D デジタルツインプラットフォームに関する  
Visionaize 社との協業覚書の締結について**

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市、会長兼社長:榊田 雅和、以下「当社」)は、Visionaize Inc.(本社:アメリカ サンノゼ、以下「Visionaize 社」)と産業設備/プラント向け 3D デジタルツインプラットフォームの提供・協業に関する覚書を締結したので、お知らせいたします。

本協業を通じ、当社は国内外の顧客に対し、産業設備/プラントの運転・保守(O&M)の業務に大きな変革をもたらす真の「3D デジタルツイン プラットフォームソリューション」(以下 3D Digital Twin)の提供を進めて参ります。

これまで顧客にとって、導入コストや維持管理に要する手間が 3D Digital Twin 導入のハードルの一つになっていました。当社は Visionaize 社との協業により、初期導入コストを抑え、費用対効果の優れた 3D Digital Twin の提供が可能になり、顧客に 3D Digital Twin を活用した新しい O&M の業務環境をご提案していきます。

当社の 3D Digital Twin は、O&M ソリューションプラットフォームである O&M Mother®や他の様々なプラットフォームとも連携することで、O&M に関わる多様なデータを統合、利活用することが可能となり、現実(フィジカル)のプラントを仮想世界(サイバー)に忠実に再現できます。また、これまで培ってきた ChAS による解析・診断・耐震・防災アセスメントサービス、AI を活用した操業最適化アプリケーション EFEXIS®、EPC で培ったエンジニアリングサービス、千代田エクスワンエンジニアリングを始めとするグループ企業の現場施工サービスといった、当社グループのソリューションを 3D Digital Twin で連携させ、ご利用いただけるようになります。

当社は、設計から施工までの広範囲で関わりのある様々な機器・計装制御・ソフトウェアサプライヤーとも連携し、3D Digital Twin の普及を推進し、顧客が取り組む設備老朽化、現場における人手不足、熟練運転員のノウハウの継承といった課題の解決を、デジタルとフィジカルの両面から継続的にご支援してまいります。



現実のプラント(左)を 3D Digital Twin(右)に表した様子

**千代田化工建設株式会社 概要**

千代田化工建設株式会社は世界をリードする総合エンジニアリング事業者です。1948年の創業以来、世界60か国以上で石油・ガス、化学、石油化学など幅広い事業分野で設計・調達・建設(Engineering, Procurement and Construction: EPC)から運用・保守(Operation and Maintenance: O&M)のサービスを提供しています。

#### Visionaize 社 概要

Visionaize 社は、複雑な産業施設をより安全かつ効率的に運用することで、人命を守り、生産性を最大化し、二酸化炭素排出量を削減するための Industrial Metaverse を構築することに注力しています。3D Digital Twin 技術のグローバルリーダーとして、世界中の主要な産業界の企業とともに、イノベーションを推進し、これらの重要なイニシアチブを実現するために活動しています。

以 上

---

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・サステナビリティ推進セクション 池尻 / 津川

Email: [irpr@chiyodacorp.com](mailto:irpr@chiyodacorp.com)

URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>